

## コロナ禍で3度目の夏…救急救命センターは 命を守る最前線にも第7波の影響が

8/10(水) 福島中央テレビ

急病や事故の際に駆け付ける消防の救急隊、その患者を受け入れ、治療にあたるのが病院の救急外来。郡山市や田村市など4つの自治体を管轄する郡山消防本部の通信指令課。

去年1年間の119番通報は県内で最も多い約2万4000件、そのうちの3分の2が急病などの救急要請という。郡山消防本部の飛田消防司令補は「救急隊は患者が一番伝えたいことを聞きつつ、数値的な部分を観察して、患者に寄り添った中でしっかり情報を取って医療機関に引き継いでいます。」と話す。

この日、83歳の男性が運ばれたのは総合南東北病院・救急センター。救急センターでは医師や看護師など、毎日10人あまりのスタッフが働いている。男性は就寝中にベッドから落ち、倒れているのを発見した家族が119番通報した。1日に30件以上の救急患者を受け入れるの救急センター、新型コロナの感染拡大によって、最近では、他の病院を断られてくるケースも少なくないという。病院で感染が広がると、患者を受け入れられなくなる恐れから救急センターの医師や看護師は、使い捨てのガウン、2重マスクなど細心の注意を払って対応している。ただ、スタッフの精神的な負担は日に日に増している。

搬送される中には、新型コロナの感染が疑われる患者も多い。センターの影山理恵医師は「新型コロナ患者は圧倒的に増えている。発熱外来も第6波の時の2倍以上」と話す。それでも救急センターの現場では、搬送時の症状や、持病の有無、過去の通院歴、薬の服用状況など、限られた時間のなかで、ベストな治療方法を模索して対応している。影山医師は「新型コロナの患者が減って欲しいという思いはあるが、浮彫りになった地域医療を見直し、仕組みを築く必要がある」と話した。コロナ禍で3年目の夏、救急の現場は24時間、いまこの瞬間も命と向き合い続けている。

### 今日のyoutube紹介下線をクリック

●コロナ患者減少傾向も 岡部所長「注意が必要」 川崎市

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fb1cf0e33073dca37982bbd132ceaa8f932f17e>

●お盆期間で休診 発熱外来がパンク状態 神奈川

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eb8ad1e94679bbe9c8a6aa518a82024826e90c86>

●新型コロナ「医療非常事態宣言」で忙しさ増す医療現場 発熱外来はフル回転状態

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5b803b7c7c13535374c0327f2e46d9024643b106>

●コロナ拡大中、盆はどう過ごしますか?街で聞きました コロナ急拡大で検査所は混雑

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ce7e5b5f427a2b03e18ffc199fd2c9d1c3058292>

●発熱等で救急車呼ぶ人増え混乱…医師が軽症患者に求める“冷静な対応”

<https://news.yahoo.co.jp/articles/21988ea95dc082a1f5ceblefc3db026b3534de62>

●富山県でクラスター急増 現場医師「高齢者の検査早めに」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7915a2562141e5ff0b2ffbf03eddd362b6fd1584>

●現場の負担軽減へ 八王子市が独自の「陽性者登録センター」開設

<https://news.yahoo.co.jp/articles/42cc8ac1e143feb10ad3b29dca75105f5460b0a1>

### 今日のPDF紹介下線をクリック

●[コロナ対策が進まない日本に嫌気！元厚労大臣・長妻昭議員を直撃「政府は大多数が喜ぶ選択しかない」](#)

●[【愛媛】新型コロナ過去2番目の2514人感染 2人死亡 帰省・旅行の感染対策は](#)

●[【岡山県】安原木隆太知事生出演歯止めがかからない第7波お盆を前に今後の対策は？](#)